

ふりがな 氏名	いまなか まみ	都道府県	愛知県	
	今中 麻美			
所属/肩書	名古屋ユネスコ協会青年部若鯨組			
私のESD活動	民間ユネスコ運動によって、主に若い世代を中心により多くの人が「平和」について考えるきっかけづくりをしている			

活動の概要

広島出身の被爆3世で幼いうちから平和について考えてきました。高校ではユネスコクラブに、大学に進学してから名古屋ユネスコ協会青年部若鯨組に所属し、民間ユネスコ運動を行っています。今年2月に岐阜県ユネスコ協会主催カンボジアスタディツアーに参加し、日本ユネスコ協会連盟が途上国で展開している寺子屋や小学校、孤児院、キリングフィールド等を訪問し、帰国後に岐阜県ユネスコ協会の定例会や名古屋ユネスコ協会の総会において、また南山大学の講義の一環としての「ユネスコ講演会」の中でスタディツアーの報告を行いました。今年9月には名古屋市内の高校でスタディツアー報告とカンボジア勉強会を行う予定です。また、異文化理解を目的とした世界の遊びといった名古屋ユネスコ協会の活動をはじめとする民間ユネスコ運動への参加、社会問題に若者が向き合い平和について考え行動するきっかけをつくるU-come (UNESCO communication meeting) というイベントのスタッフを行っています。イノベーティブな取り組みとしては、カンボジアの報告を行う際、カンボジアの負の遺産を例に挙げて争いを起こしてしまう人の心に焦点を当て、ユネスコ憲章をもとに平和で持続可能な社会のために私たちにできることを考えています。また、国際理解教育の一環としてカンボジアとSkype等を用いた直接的な交流を行う取り組みを始めたいと考えています。

○「名古屋ユネスコ協会」 <http://www.unesco.or.jp/nagoya/>

○「U-come」 <https://www.u-comepeace.com/>

今後の活動や協働への展望

民間ユネスコ運動のなかでユネスコ世界寺子屋運動や、国際理解教育、若者が社会問題に向き合うイベントを行うことにより、「平和」をはじめとする問題について、それを取り巻く「環境」「人権」「社会福祉」「地域活性化」等のさまざまな問題を視野に入れ、より多角的、複合的に「平和」について考えていくような活動を展開していくことで、自分のESD活動を発展させていきたいです。具体的には、地球の未来を担っていく若い世代が、平和や現代社会における地球規模の多様な問題について気づき考えるきっかけを作るイベントや活動、ユネスコ世界寺子屋運動を進めていく中でESD活動を発展させていきます。ESD日本ユースの一員として、コンファレンス終了後も知り合った参加者の方々と交流を持ち続け、新しい価値観や取り組みを永続的に創り出していくことで、互いの現在の活動をよりよいものにし、新しい活動を共に考え、取り組んでいきたいと思えます。また、前回までのコンファレンス参加者のESD日本ユースの方々ともFacebookでつながるなど、ESD実践者の輪を積極的に広げていきたいです。その中で民間ユネスコ運動についても知ってもらい、ユネスコ会員とさまざまな分野で活動されている方々をつなぐ役割も担っていけるようになりたいと考えています。